



受けるよりは与えるほうが辛い



校長 夏見隆晴

十二月の声を聞くと、カトリックミッションを標榜する本校では、救い主イエス・キリストのご誕生をお祝いする「聖誕劇」を完成させるために拍車がかかります。クリスマスと新年という一年の大きな節目となる行事について、生徒たちに理解を深めてもらいたいと、「宗教」の科目担当者でもあるわたしは、授業の中でイエス・キリストの誕生の意味を聖書の中を探る作業をいたします。

イエス・キリストは、私たち人間にどのようなメッセージをもたらすためにこの世に来られたのかを、簡単に説明するのは容易なことではありません。でもこれをしない限り、わたしたちがこの学校を開設している意味がなくなります。もちろんわたしたちは、日々生徒たちに学力をつけるための指導にも、人一倍の努力を重ねております。でもわたしたちは同時に、生徒たちには豊かな人間性を育ててもらいたいと願っております。その指針を聖書の中に求め、そして伝えているのです。

そのようなわけで、わたしは今年のクリスマスメッセージに新約聖書の使徒言行録の一節を選びました。それは、「あなたがたも働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が辛いである』と言われた言葉を思い出すように。」(20章35節)という聖パウロが弟子たちに教えた箇所です。

聖パウロという人は、生来の健康には恵まれず、またその人となりについても、「手紙は重々しく力強いが、実際に会ってみると弱々しい人で、話もつまらない」という人もいる、とご自身で書き記しているような人でありました。そのようなパウロが、キリストの教会のために精力的に働いて、キリスト教成立の大功労者となるのです。今日聖パウロと呼ばれるのは、彼のその働きが非常に偉大なものであったからです。わたしたちは、まずその働きにおいて、パウロに倣う必要があります。

つぎに、その「働く」ということの意味についてですが、単に自分が食べていくための労働であれば、働きへの意欲も小さいものとなり、結果もまた当然小さいままで終わります。この点でもパウロはわたしたちの模範となります。パウロは、かれの生業であったテント作りについても、人一倍働いたことを誇りにしていました。わたしたちは、まず労働において他者の模範となる必要があります。わたしたちは「はたらいで弱いものを助け」なければならないのです。クリスマスや新年は、この教えを実践するのにより機会であることを、生徒たちに理解してほしいというのがわたしの願いであります。

また『受け取るよりも与える方が辛いである』というイエス様ご自身のお言葉を、わたしたちは生ある限り、繰り返す心にとめ実践していきたいものです。

キャリア教育とは・・・

『一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』(平成23年1月中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」より)

とされております。私自身もこれからの教育に対してキャリア教育の必要性を感じ、平成23年に第1回キャリア教育コーディネーター資格認定試験を受験し、無事合格することが出来ました。

現在、世の中では社会に適応できない若者が急増しております。その原因の一つとして考えられるのが、世の中が便利になりすぎてしまったことによる「体験の乏しさ」です。この「体験の乏しさ」により、自ら感じ、自ら考える力が低下してしまったことで、卒業後に社会に適応できない若者が増える現状があるのです。私は、こういった世の中の現状を打破する教育が「キャリア教育」であると考えます。卒業後、スムーズに社会に移行・適応するためには、将来希望している職業に就くための進学指導だけではなく、様々な人や出来事との関わり合いの中から自ら感じ、自ら考えることによって、どのような社会にも対応できる「生きる力」を身につける教育が必要です。よって、在学中に教科としての知識だけではなく、様々な経験を積めるような教育が求められます。そのためには、保護者の皆様、地域の方々、卒業生などの様々な大人の関わり合いが必要になります。現在、私自身は、常に「繋がり」や「関わり」を念頭におき、活動しています。現在も研修やコーディネーターとの情報交換によりその知識やスキルの習得に努めております。

先日、11月16日(土)に那覇市安里にて、子どもたちが商品の仕入れから販売までを体験する「キッズマート」が開かれました。キッズマートとは、子どもたちに社会や人とのつながりを体感しながら働くことの意味を学んでほしいと企画されたもので、県内各地に住む5歳から中学3年生までおよそ120人が参加しました。私自身は、開催日前日の会場設営のみの関わりになりましたが、そこには子どもたちの未来のために、一生懸命に取り組まれている沢山の大人の姿がありました。その大人達の「想い」が形になる瞬間に少しでも関わることができ、大変良い時間となりました。今後も、私たち大人の子ども達への「想い」を形にする瞬間に関わり、その「想い」を沢山の皆さんに繋げることができれば子ども達にとって更なる良い教育ができるのではと考えております。その際は、保護者の方々のご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



12月の予定



日・曜日	行事計画
4日(水)	完全下校16:30
6日(金)	高校3年生授業終了
9日(月)	第4回定期試験(中学生10日(火)高1・高211日(水) 高3卒認試験~12日(木))
14日(土)	総合PUP 駿台CP6年 高2修学旅行説明会
16日(月)	答案返却
18日(水)	完全下校16:30
19日(木)	通常授業 卒業再認試験
20日(金)	生徒集会08:05開始 大清掃 下校時間12:30
21日(土)	クリスマスミサ 聖誕劇 生徒集会 下校時間12:30
23日(月)	冬期講座 ~27日(金) 25日(水)除く
24日(火)	冬期休業 1月6日(月)まで

2014年1月7日(火)生徒集会 08:05講堂

12月19(木)、20(金)、21(土)の予定が年間行事から一部、変更になりました。訂正して、お詫びを申し上げます。

生徒の頑張り!

第45回東京スイミングセンタージュニア優秀選手招待公認記録会(日本水泳連盟公認)

11月21日(木)~24日(日)東京スイミングセンター 公認屋内50mにおいて開催された記録会で決勝戦に進出し、下記の成績を修めました。ご声援、ありがとうございました。

高校2年生 二俣 竣亮 君

決勝戦 100m 自由形 6位

200m 個人メドレー 8位

50m バタフライ 8位

今日ダビデの町で、

あなたがたのために救い主がお生まれになった。

この方こそ主メシアである。

ルカによる福音書 2・11

